

新型コロナウイルス感染拡大防止のための対策について

日本バドミントン協会が定めるガイドラインに準じて大会を行います。

以下の内容について、各チーム代表者の責任で徹底し、感染防止に努めてください。

【大会会場について】

- ・可能な限り、ドアや窓を常時開放する。
- ・開場までの時間、入り口付近が密にならないようにする。
(早く来場しすぎない、できるだけ車内で待機をお願いします)
- ・出入り口や各コート、トイレ等に石けんや消毒用アルコールを設置する。
- ・昼食の時間を設ける。食事中は一切話しをしない。
- ・コートサイドに荷物用カゴを設置しない。各自バッグを持参させる。
- ・外履きは袋に入れ自分で管理する。下駄箱は使用しない。
- ・観戦は距離を空け、声を出さず拍手で行う。手すりはできるだけ触らないようにする。
- ・ゴミは必ず各自持ち帰りとする。

【競技について】

- ・試合の待機場所は設置しない。コールされたら直接コートに行き、審判をしてから試合をする。
- ・審判が来るまでは、コートでの練習を許可する。その際、シングルスは対戦相手同士で練習する。
練習用シャトルは各自が持参すること。
- ・スコアシートは、本部の係がコートまで運ぶ。
- ・試合終了後は、勝者がスコアシートを本部まで持ってくる。勝者サインは行わない。
- ・審判の前後、試合の前後に手指消毒をさせる。
- ・競技中以外（移動・審判・応援・見学等）の時間はマスクを着用させる。
- ・選手同士や審判員との握手は行わない。
- ・試合前のあいさつやトス（じゃんけん）はネットから1m程度離れて行う。
- ・主審のコールは必要最小限とする。
「プレイ」「フォルト」「レット」等のみ行う。点数はコールせず、得点板のみで確認させる。
- ・線審のコールは行わず、ジェスチャーのみで行う。
- ・シャトル交換の際は、主審は受け取らず、選手が主審近くのシャトル回収カゴに入れる。
主審はシャトルが不足したら、本部席に回収カゴを持ってくる。
- ・意図的な大声、ハイタッチ、シューズの裏を手で拭くことは行わない。

【入場者の管理について】

- ・入場前に入場者全員の体調をチームごとに確認し、まとまって入場する。途中からの入場は認めない。
(監督、コーチ、選手、保護者等、入場するもの全員が朝集合すること)
- ・監督、コーチ、保護者は集合時から退場するまで常時IDカードを着用すること。
(IDは県中体連バドミントン専門部のホームページからダウンロードし、各チームで用意する)
- ・発熱者、体調不良者の入場を禁止する。
各チームで体調確認と検温を実施の上、参加者名簿を記入し、入場時に提出する。
- ・自身の試合、役割（審判等）が終了したら、観戦や応援をせずに速やかに帰宅する。
- ・会場内で体調不良や発熱が生じた際には、各チームの代表者を通じて速やかに本部に申し出る。